

令和5年度 第10回
認定事業推進委員会

日時：令和6年3月29日（金）

場所：木住協 6F 会議室 15：00～17：00

出席委員（敬称略）

| | | |
|------|-------|--------------------------|
| 委員長 | 新居 健二 | ポラス(株) 経営企画部秘書室 顧問 |
| 副委員長 | 伊原 隆澄 | サーラ住宅(株) 建設部 マネジャー |
| 委員 | 内山 岳彦 | (株)エー・エス・ディ 代表取締役 |
| | 三浦 健史 | (株)タナカ 住宅資材開発部 開発課 課長 |
| | 小尾 英彰 | ジャパンホームシールド(株) 事業開発部 本部長 |
| | 鴛淵 正憲 | 住友林業(株) 渉外室 シニアマネジャー |
| | 南雲 政幸 | (株)土屋ホーム 設計部 次長 |
| | 原田 和仁 | (株)サンゲツ |

8 名委任状出席

| | | |
|----|-------|---------------------------|
| 委員 | 大森 浩市 | (株)エヌ・シー・エヌ 構造設計部 課長 |
| | 千葉 将 | (株)日本ハウスHD 住宅統括部 商品開発室 次長 |
| | 岩田 徹 | BX カネシン(株) 執行役員営業開発部 部長 |
| | 石田 剛司 | (株)トーヨー マーケティング課 課長 |
| | 吉川 誠二 | (株)ハウゼコ 広報室 室長 |
| | 吉原 豊 | (株)LIXIL |

6 名オブザーバー

| | | |
|--|-------|----------------------|
| | 村松 均哉 | (株)新都心エージェンシー 営業推進部長 |
| | 亀村 英樹 | (株)地盤審査補償事業 シニアマネジャー |

計 16 名

| | | |
|-----|--------|---------|
| 事務局 | 黒沼 正人 | 事業推進部部長 |
| | 松澤 ひろみ | 事業推進部課長 |

【 議 事 録 】

認定事業推進委員会

報告事項

1. 前回議事録の報告（資料 NO1）

- ・ 令和 5 年度第 9 回議事録は承認された。

報告事項

2. 3. 会員における木優住宅利用実績及び保険法人別の利用実績（資料 NO2・資料 NO3）

- ・ 事務局・黒沼より実績について報告が成された。
2 月度実績 1,443 戸。保証機構は 846 戸、JIO は 477 戸。

報告事項

4. 検査 WG 活動報告（資料 NO4）

- ・ 内山リーダーより、資料 NO4 に基づき、検査 WG 活動の進捗状況について報告が成された。
 - ① 今年度実施した、木造住宅検査員監査報告について。
2～3 月で 19 社実施。（別表参照）
 - ② 防水テープ施工専用工具について。
施行動画及び現物を確認。
住宅保証機構と協議の上、まもりす Letter 作成、専用工具・施工動画案内、セミナー開催を進めていく。
 - ③ 2025 年基準法改正に伴い、木住協設計施工基準の改正及び木造検査員講習会内容の改正を下半期に執り行う。

報告事項

5. 普及促進 WG 活動報告（資料 NO5）

- ・ リーダー欠席により、松澤が（資料 NO5）に基づき、普及促進 WG 活動について報告が成された。
本日の WG 休会。昨年度に企画した、一都六県の新規会員を中心とする営業訪問について、監査で休止していた為、年度明けから再開する。委員長、委員等に承諾をいただいた。

報告事項

6. 2023 年度事故抑制セミナー（資料 NO6）

- ・ 事務局・松澤より、資料 NO6 に基づき、3 月 6 日（木）大阪、3 月 22 日（金）名古屋で開催した。
事故抑制セミナーについて説明が成された。
 - 第 1 部 『今起きている雨漏り事故の特徴と事例について』 住宅保証機構・手塚部長
 - 第 2 部 『地盤と建築をつなぐ』 東海大学・藤井名誉教授
 - 第 3 部 『4 号廃止と新しい壁量計算』 東京都市大学・大橋名誉教授

参加人数

大阪：15 名 名古屋：20 名

アンケート結果

別紙参照

報告事項

7. 認定事業推進委員会 視察見学会（資料 NO7）

- ・ 事務局・黒沼より、資料 NO7 に基づき、2/16 日（金）2/17（日）に開催された熊本県天草市研修見学会について報告が成された。

報告事項

8. 建設業界ならではの「ビジネスリスク対策」セミナー（資料 NO8）

- ・ 事務局・黒沼より、資料 NO8 に基づき、3/19（火）開催された三井住友海上セミナー「事業承継」～経営者にとって最大のリスク～について報告が成された。

報告事項

9. 能登半島地震・応急仮設住宅への取組（資料 NO9）

- ・ 事務局・黒沼より資料 NO9 に基づき、木住協「令和 6 年能登半島地震」への対応状況の概要について説明が成された。

報告事項

10. JHS 長期保証（資料 NO10）

- ・ 事務局・黒沼より資料 NO10 に基づき、JHS 建物長期保証サポートについて紹介が成された。

報告事項

11. 良質な住宅・建築物の取得・改修に関する支援制度（資料 NO11）

- ・ 事務局・黒沼より資料 NO11 に基づき、国土交通省の WEB 動画配信・説明用スライドについて紹介が成された。

審議事項

12. 令和 5 年度表彰候補推薦について（資料 NO12）

- ・ 事務局・松澤より資料 NO12 に基づき、事業部門（木優住宅）表彰 9 社、（工事総合保険）表彰 10 社について審議され、承認を得る。

＜木優住宅表彰基準は、3000 戸、10000 戸以上の表彰は、表彰年度から 2 年空けて表彰対象とする。と
していたが見直し、3000 戸の次は 10000 戸、10000 戸の次は 20000 戸、30000 戸で表彰する。＞

以上